

2019 年度 第 4 回 研究会, 研究委員会の近況と活動日程

黒田恭司*₁ 岡田公治*₂

*₁ 日本アイ・ビー・エム *₂ 東京都市大学

4th Activity Report, August 2019: Committee of Study Groups

Kyoji Kuroda*₁ Koji Okada*₂

*₁ IBM Japan, Ltd. *₂ Tokyo City University

研究委員会では個別テーマ毎の研究会活動とトワイライトサロンや研究委員会フォーラム等のイベントを運営しています。2019 年 7 月 22 日現在の各研究会活動の活動状況や予定などを掲載しますので、ご興味のある研究会への参画を是非、お願いいたします。

1. 研究会の活動状況

(1) メンタルヘルス研究会

(主査：前田 英行 日立社会情報サービス)

月 1 回の定例会と年 1 回のワークショップを中心に活動中です。



定例会の様子 (6 月 18 日)

<直近の活動実績>

5 月 22 日：定例会開催 (7 名)

「ソフトウェア紛争事例に学ぶ」(柴垣太郎)

「紛争事例に学ぶ, IT ユーザの心得」(翔泳社)から事例を取り上げながら, 紛争をなくす工夫や技術者のモチベーションをアップさせる方法について話し合いをしました。また民法改正のシステム開発への影響点を確認しました。裁判では技術的な良否 (良い作りか否か) は争点には成らず, 例えば要件変更を受け入れた場合にリスクやスケジュールへの影響を相手にきちんと伝えたか, エビデンスを残すことの方が重要等, 実践的なノウハウを学ぶことができました。またそのために, いい人を脱出してデキる人に

なるメンタル管理術を学びました (日経 Woman Online 「いい人」に未来はない)。

6 月 18 日：定例会開催 (8 名)

「Mindfulness」(橋本春彦)

話題のマインドフルネスについて学習をしました。マインドフルネスの実践例として, 1 分間呼吸, マインドフル観察 (部屋にあるものを 1 分間じっくり観察すること), 感謝の時間を持つこと, などが紹介されました。

心の平静を保つのが難しいときに使えるマインドフルネス救急セットは, 4 月の定例会で観た TED トークの動画, ガイ・ウィンチの「感情にも応急手当が必要な理由」でも話題になった「心の救急箱」に似たアイデアだと思います。マインドフルネスは個人で自分のストレス耐性を上げられる方法です。

「マインドセット『やれば出来る』の研究」(角田文広)

マインドセットとは, 経験, 教育, 先入観などから形成される思考様式, 心理状態のことです。マインドセットには, 才能は変化しない, ひたすら自分は有能だと思われたい「硬直マインドセット」と, 才能は磨けば光る, ひたすら学び続けたいと思っている「しなやかなマインドセット」があります。最近好きな TV 番組で, 有名なスポーツ選手が若い頃どうしても勝てなかったのに, 大人になって消えてしまった人と, その有名選手の差はどこにあったかを比較する番組があります。勿論, ケガが原因のこともあります。マインドセットが違ったのではないかとされるケースも多々あります。

自分のマインドセットを意識することで, 人は変わることができるようです。

た。また、実施したリスク・マネジメント研修の結果をもとに、テキストマイニングによる分析を行い、受講者の属性とリスクの識別方法や観点の変容との関係、今後の研修開発に関して得られた示唆について、2019年度春季研究発表大会にて発表いたしました（黒木ら、2019）。現在、秋からの活動計画を作成し、次の発表に向けて準備中です。

<今後の活動予定>

8月28日 定例会を開催予定
9月18日 定例会を開催予定
10月23日 定例会を開催予定

【詳細問合せ先】 pmkenkyu@spm-hq.jp

(5) ソーシャル・プロジェクトマネジメント研究会
(主査：河合 輝欣 ユー・エス・イー)

ソーシャル PM の体系化を目指して、社会の基盤情報システムとしての官公庁プロジェクト等に焦点を当てて研究会を行っています。

現在、当研究会では、社会インフラプロジェクトの事例研究として、総務省の「ICT 街づくり」や東日本大震災の復旧・復興の街づくりを研究テーマとし、ICT プロジェクトマネジメントの視点から、知見・知識の集積を行い、知識や理論の体系化を試みています。

体系化の一環として、街づくりプロジェクトの導入・展開における基本的な考え方や留意事項を取りまとめたガイドラインを作成中です。

<今後の活動予定>

8月末：定例会開催予定
10月末：定例会開催予定

【詳細問合せ先】 yamamotot@nttdatacs.co.jp (山本)

(6) フロネシス PM (知恵ある実践) 研究会

(主査：中村 太一 国立情報学研究所)

フロネシス PM (知恵ある実践) 研究会は、暫定的に隔月の例会開催となっています。

今年後半は、リーダーシップをテーマに“世界

に通用する日本型プロジェクト・リーダーシップはあるのか？”をテーマにリーダーシップと文化について、隔月の第2木曜日に開催しています。

6月13日の例会では、5月にアイルランドで開催された PMI のヨーロッパのコンGRESの発表の一つ、“なぜ女性の方がプロジェクトマネジャーに向いているか”を題材に、共感、傾聴、縦よりも横のつながり、コーチングによるメンバーの育成など女性の特性とされるものが、今のプロジェクトマネジャーに求められているのではないかと、について活発なディスカッションを展開しました。昨今のプロジェクトの多様なステークホルダーをエンゲージの状態にするには、女性でも男性でも人間関係スキルの醸成が大事であるとの結論になりました。

<今後の活動予定>

8月8日：例会を開催予定
「DX時代のリーダーシップ」予定
10月10日：例会を開催予定
「リーダー育成の日本の課題」予定

【詳細問合せ先】 pmkenkyu@spm-hq.jp

2. その他

活動中の研究会への参加希望や、新規研究会の提案に関する問合せは、下記までご連絡をお願いします。

【問合せ先】 pmsocietystudy@googlegroups.com

研究委員会 委員長 黒田 恭司
研究委員会 副委員長 岡田 公治

参考文献

黒木弘司, 山内美佐子, 大野富, 木野泰伸 (2019). リスクマネジメント研修の事例紹介 ―リスク識別の観点にフォーカスして―. プロジェクトマネジメント学会 2019 年度春季研究発表大会予稿集, 391-396.